

きらめき☆奈良

第5号

子どもたちには夢があります。未来があります。可能性があります。
私たちの大切な宝である子どもたちが、自らの力で輝き、地域や社会、未来を照らす光となるように、奈良市ではさまざまな教育を行っています。
奈良市教育だより「きらめき☆奈良」では、奈良市の教育を紹介します。



一条高校との第18回秋のふれあいコンサートでの大合唱



元気いっぱい！
わらべ歌を合唱する園児



大きな声で学区ブランド商品を販売する中学生



美しい音色で琴を奏でる小学生



みんなで楽しく手遊びする園児

自分たちで安全点検 「防災生徒総会」

奈良市では、昨年度より学校を良く知る中学生が、地域防災のリーダーとしての役割を担い、地域との連携を図り、防災力を高めるために「防災力強化プロジェクト」に取り組んでいます。

今年度は、現地研修として都南中学校、田原中学校、二名中学校、富雄第三中学校の生徒会代表が地域の方々とともに、昨年の12月14日と15日の二日間にわたり、仙台市立西山中学校と岩切中学校を訪問し、「もし、今学校で地震が起きたら」をテーマに、地震発生時のシミュレーションや生徒間による意見交換と情報交換を行いました。

また、2月8日に市役所において、現地研修に参加した四つの中学校と三笠中学校、富雄中学校、飛鳥中学校の生徒会による奈良市防災生徒総会が行われました。防災生徒総会では、現地研修の報告とともに、図書室の本棚にロープを設置し、災害時の本の落下や飛散防止の取組や、校内



現地研修の報告



岩切中学校での意見交換

このプロジェクトを通して、中学生の防災意識を高めることができ、また、地域の方々にも災害対策の重要性を訴えることができました。

今後も奈良市では、中学生が地域とつながり、社会の一員として活躍できる人となるための取組を推進していきます。

このベンチを災害時にカマドとして利用する方法など、各学校での安全点検や防災の取組についてポスターによる発表を行い、参加者と質問や感想を交えた、意見交換を行いました。



賢くやさしい人に

奈良市教育委員に新しく就任した
都築由美さん

科学技術がどんどん進歩する21世紀にあっても変わらないこと、それは「人はひとりでは生きていけない」ということです。困ったときには助けを求め、困っている人がいれば助けてあげる。このことは、どんな時代になっても、家庭でも、学校でも、地域でも、地球上のどこへ行っても、とても大切なことであると思います。歴史と伝統が息づく奈良で育つ子ども達には、本当に大切なことは何かを見極め、助け合い協力し合うことでよりよい世界を築いていける、「賢くやさしい人」になつて欲しいと願い、成長を応援していきたいと思っています。

子どもの教育活動支援を評価

二名中学校区地域教育協議会が
文部科学大臣表彰受賞

未来を担う子どもたちを健やかに育てようと、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支援する活動内容が評価され、二名中学校区地域教育協議会が昨年12月5日、文部科学大臣表彰を受賞しました。

二名中学校区では、地域の関係団体及び学校園関係者が一体となった組織体制がつけられ、コーディネーターの役割分担も明確で、教職員と顔の見える関係のもと特色ある取組が展開されています。

奈良市では、平成23年度の富雄中学校区、同24年度の三笠中学校区に次いで三例目です。

これからも、学校・家庭・地域が連携と協働し、子どもたちを支援する取組を進めていきます。

表彰された二名中学校区地域教育協議会の方々

編集後記：「きらめき☆奈良」の発行も第5号を迎えることができました。これからも、子どもたちの活動の様子や奈良市の教育について、伝えていきたいと思ひます。教育委員会のことは、奈良市ホームページをご覧ください。(http://www.city.nara.lg.jp)



おはよう おかえり こんにちは
声かけ 気かけ 笑顔かけ
守ろう、地域子どもたち
毎月17日は「子ども安全の日」です。

記事に対するご意見や感想等がございましたら、下記までお知らせください。

奈良市教育委員会事務局 教育総務課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
Tel.0742-34-5297 Fax.0742-34-6917



環境にやさしい植物性インキと古紙配合率100%再生紙を使用しています。

日本マイクロソフト 樋口社長と対談

ソフトウェア、クラウドサービス、およびデバイスの営業マーケティングを推進する日本マイクロソフトの樋口泰行社長が奈良市を訪れ、奈良市教育委員会の中室雄俊教育長と対談を行いました。



樋口社長

「いろいろな経験で自分自身を磨いてほしい」

教育長

「世界の舞台で奈良を語る子を育てたい」

には、子どもたちがどんな経験を積み重ねたいと思いますか。

（樋口社長） 社会を生きぬくためには、確固たるアイデンティティーが土台になると思います。そのためには、生まれ育つ環境の歴史と文化に触れ、多彩な経験を積むことが重要だと思います。

（教育長） 奈良市教育委員会では「世界遺産学習」に力を入れていますが、奈良の子どもにとって身近にある「本物の歴史」「本物の文化」にしっかりと触れてほしい。グローバルな舞台に出たときに、自分の言葉で奈良について語り、交流してほしい



（教育長） 樋口社長は子どものころはどのように過ごしてこられたのですか。

（樋口社長） 小学校から大学に進むまで奈良市で過ごしました。鶴舞小学校卒業後は富雄中学校、登美ヶ丘中学校に通いました。子どものころは鶴舞団地に住んでいて、日が暮れるまでキャッチボールや野球をして遊んでいました。

（教育長） 海外留学や、外国での勤務経験があるということですが、時代や場所が変わっても、役に立つ資質や能力にはどのようなものがあると思われませんか。

（樋口社長） 日本や海外、そしていろいろな業種で働いた経験が、私にとっては非常に役立つと思います。社会には様々な考え方があり、常に違う空気を吸い、違う景色を見ることによって、時代や場所が変わっても役立つ普遍的な能力を身に付けることにつながると思います。

（教育長） これからの変わりゆく社会を生き抜く力を育てていくため

と、私たちは思い描いています。

（樋口社長） 歴史や伝統の素晴らしさは、大人になっても、心に残っていくと思います。むしろ、子どもたちにとっては、すぐには理解できないものかも知れません。だからこそ、本物の歴史や文化に触れあいながら育つて行くことは、とても大切なことだと思います。

（教育長） この奈良で学んだことが、子どもたちがこれからの社会を生きぬく力に必ず結びついていくと思います。本日はありがとうございました。

樋口泰行社長のプロフィール
昭和32年生まれ。鶴舞小、富雄中、登美ヶ丘中、奈良高校を経て大阪大学工学部卒業。松下電器産業入社後、米国ハーバード大学ビジネススクールを経てコンパックなどで勤務。日本ヒューレット・パッド、ダイエーで社長を務めた後、平成20年、日本マイクロソフト社長に就任。

教育長の思い 「奈良で学んだことを誇りに」

樋口社長との対談を前に、なら100年会館で行われた、県立奈良高等学校創立90周年記念式典の、樋口社長記念講演に出席しました。

樋口社長は、心の奥に情熱を持つことの大切さや、「どんなことでも一生懸命やれば、全ては糧になる」といった、努力の尊さについて話されました。

この話を聞いて、「夢を思い描いていくことが、これから大人に成長していく子どもたちに、大きく影響していくことにつながる」と思いました。

今、奈良市では、歴史と文化、伝統が受け継がれた、奈良を見つめることで、奈良をもっと好きに、もっと大切に思ってもらいたいと考え「奈良で学んだことを誇らしげに語る子」を育てることを目標にしています。

これから皆さんは、ますますグローバル化・情報化が進む世の中に出していきます。そんな世の中で生きていく皆さんの豊かな人格形成と、アイデンティティーの土台となるものを、私たちは大切に育てていきたいと強く感じました。

たくましく社会を生きぬく力を育む

地域の特産を知る「学区ブランド産品」

グローバル化や情報化など、変化の激しい社会を生き抜くために、子どもたち一人一人に社会的・職業的基盤となる能力や態度を育てることが求められています。奈良市では、児童生徒に地域行事への参加や職場見学・職場体験・課題探究学習などを行い、地域の方々と交流や体験を通し、美社会とのつながりを大切にしたい取組を進めています。

奈良市では、小・中学生が地域の人々と協働し、地域資源を活用した「学区ブランド産品」の開発・商品化に取り組んでいます。これまで、「烏梅（うばい）による紅染め」（月ヶ瀬中学校区）、「富より団子」（富雄中学校区）、「カレー都南（カレーとナン）」（都南中学校区）、「竹炭」（飛鳥中学校区）、「柿クッキー」（二名中学校区）が魅力的な学区ブランド産品として誕生しました。

奈良市では、小・中学生が地域の人々と協働し、地域資源を活用した「学区ブランド産品」の開発・商品化に取り組んでいます。これまでに、「烏梅（うばい）による紅染め」（月ヶ瀬中学校区）、「富より団子」（富雄中学校区）、「カレー都南（カレーとナン）」（都南中学校区）、「竹炭」（飛鳥中学校区）、「柿クッキー」（二名中学校区）が魅力的な学区ブランド産品として誕生しました。



学区ブランド産品の販売



学区ブランド産品づくり